

2022年度 第4回 11月 早慶上理・難関国公立大模試 地理B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字，脱字，漢字間違いは0点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は0点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ0点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 字数オーバーは0点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは1点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は1問につき1点減点。
(指定語句は，解答中のどこかで使用していればよい)

(*減点しなくていい要素，その他の注意)

- ① 加点ポイント以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

1	<□□□□>	加点ポイント
2	□□□□x	事実誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

4 設問別加点要素

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」と「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

2

問3(3) 5点

降雪や急峻な山地、火山に乏しいため、ウィンタースポーツや温泉を楽しめる長野・北海道への訪問率が高い。

【加点ポイント】

①<1点> 【表1から訪問率が高い都道府県の実例を挙げる】

- 長野／長野県
 - 北海道
- } いずれかで1点

②<2点> 【①の特徴】

- ウィンタースポーツ (スキー／スノーボード) が楽しめる
 - 温泉が多い
 - ×寒い／雪が降る／気温が低い／山地である
- } いずれかで2点

③<2点> 【①②の背景となるオーストラリアの特徴】

- 降雪が乏しい
 - 急峻な山地が少ない／新期造山帯がない
 - 火山が少ない／温泉地が少ない
- } いずれかで2点
(以下同)

3

問2 3: ○郷鎮企業 →2点
×郷鎮

問2 6: ○生産責任制／責任生産性／生産請負制／請負生産性／土地請負制／個人請負制
→2点

問3 (2点×2) (順不同可)

- 順不同可
- 完答2点 { 記号: (b)
正しい語句: 円高の進行 (※「の進行」の欠落→△1点)
 - 完答2点 { 記号: (f)
正しい語句: インフラストラクチャーの整備／社会基盤の整備
(※「の整備」の欠落→△1点)

問4 4点

自由主義経済の発達するホンコンと隣接する上、改革開放政策の下で経済特区に指定され外資を導入したから。

【加点ポイント】

- ①<1点> 【シェンチェンの地理的特徴】
 - ホンコン（香港）と隣接する／ホンコンに近い
- ②<1点> 【政策的背景】
 - 経済特区に指定／経済特区になった
 - ×輸出加工区に指定／経済技術開発区に指定
- ③<1点> 【②の背景】
 - 改革開放政策／改革開放／開放政策
 - 市場経済の導入／資本主義の導入
- ④<1点> 【②の効果】
 - 外資を導入／外国企業を誘致／外国企業が進出／外国の技術を導入
 - ×税制優遇がある／安価な労働力

4

問2 3点

ファベラが形成された丘陵地で斜面崩壊が発生したため。

【加点ポイント】

- ①<1点> 【災害の内容】
 - 斜面崩壊／地すべり／山崩れ／土砂崩れ／土砂災害
 - ×「洪水」のみ
- ②<1点> 【人為的背景】
 - ファベラの形成／スラムの形成／不良住宅（バラック）が多い
- ③<1点> 【②の場所】
 - 丘陵地／斜面／山の麓

問3 3点

偏西風により火山灰が拡散し、ヨーロッパの航空交通が麻痺した。

【加点ポイント】

- ①<1点> 【物流の混乱をもたらす事態】
 - 航空交通が麻痺／空港が使用不能になった／飛行機が飛べなくなった
 - （※「飛行機」「空港」などに影響が出たことが分かれば○）
- ②<1点> 【①の原因】
 - 火山灰／噴煙
- ③<1点> 【②を拡散した要因】
 - 偏西風
 - ×季節風／風／恒常風

問4 3点 [指定語句] 情報

(※下線不要 解答中のどこかに使用していればよい。不使用は-1点。)

津波情報を国際的に共有し、住民に周知させる連絡網がなかった。

【加点ポイント】

(※「津波」は設問中に既出なので無くても可)

①<2点> 【人的被害拡大の要因1】

- 被害が想定される地域に情報を周知させる方法がなかった
- 住民に津波情報が伝わらなかった
- 途上国が多く危険性を伝える連絡網が未整備であった
(※「被災地での連絡方法の不備」が分かれば○)

②<1点> 【人的被害拡大の要因2】

- 津波情報を国際的に共有できていなかった
- 国家間での情報伝達がうまくいかなかった
(※「国際的な情報の不連絡」が分かれば○)

問5 3点

建物や舗装で地表が覆われ、雨水が土壌に浸透しにくくなった。

【加点ポイント】

①<1点> 【都市型水害の要因】

- 雨水が土壌に浸透しにくくなった／土壌の保水力を利用できない
- 多くの雨水が水路（下水道／河川／側溝）に短時間で流れ込む
- 雨水の排水能力が追い付かない

②<2点> 【①の背景】

- 地面が舗装された／地表が建物や道路で覆われた
- 水田や緑地が少ない

問6 3点

災害時に想定される被害範囲と避難所や避難経路を示した主題図。

【加点ポイント】

①<2点> 【ハザードマップに示される内容1】

- 災害時の被害範囲／被害が想定される地域
- 土砂災害（浸水被害／津波被害）などが想定される（起こりやすい）地域

②<1点> 【ハザードマップに示される内容2】

- 避難所／避難経路